

知のフォーラム2nd Stageシンポジウム「Food Safety and Functional Evolution」を開催しました。

2017年8月7日（月）～8日（火）の2日間にわたり、青葉山新キャンパスで知のフォーラム「New Horizons in Food Science via Agricultural Immunology」の2nd stageシンポジウム「Food Safety and Functional Evolution」を開催しました。食の安全性と機能性は、人々の健康と病気に密接に関連していることが知られています。そのため、農畜水産物の生産に関しては、農薬や抗生物質使用の低減が求められています。また、食と健康との関連性への関心が高まり、健康に対して有益な、あるいは有害な成分の検出と評価が求められています。このような健康に影響を与える食品成分は、人の代謝、免疫、エピジェネティクス、ゲノム安定性などに作用すると考えられています。したがって、食の安全性と機能性の科学的な評価には、様々な生命科学研究分野の知見が求められています。Stage2では、これらの様々な分野の一線で国際的に活躍する研究者によるシンポジウムを開催しました。7名の海外研究者を、アメリカ合衆国、スイス、オランダ、インドネシアよりを招聘し、食の安全性と機能性に関する国際的研究交流を図りました。シンポジウムでは、研究報告や活発な質疑応答が行われました。さらに、知のフォーラム期間中のSocial Event（Lunch、Welcome Cocktail、Banquetなど）においても、本学教員や学生との意見交換や交流が活発に行われました。また、知のフォーラム期間以外にも、招聘研究者の関連研究室への訪問が行われ、公開研究セミナーも開催されました。このような食の安全性・機能性に関連する分野で国際的に活躍する研究者と、本学研究者・学生との密接な交流により、国際的研究交流が十分に達成できたものと考えています。これらの交流の中からは、すでにいくつかの国際共同研究が既に開始され、また多くの国際共同研究が現在検討されています。今回の知のフォーラムを契機として、CFAIのグローバルな活動が益々活発化することが期待されます。

